

1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成24年12月14日

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4670105016
法人名	医療法 浜友会
事業所名	グループホーム はまゆう
所在地	鹿児島県鹿児島市喜入町6976番地1 (電話) 099-345-0099
自己評価作成日	平成24年11月20日

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://www.kaigokouhyou.jp/kaigosip/Top.do?PCD=46
-------------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	NPO法人自立支援センターかごしま 福祉サービス評価機構
所在地	鹿児島県鹿児島市星ヶ峯四丁目2番6号
訪問調査日	平成24年12月5日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

- ・事業所と同じ敷地内に母体医療機関や、デイケアセンターがあり、また、年度新たに、併設の特別養護老人ホームも開設した。
- ・近隣には消防署、駐在所、市役所、小学校、中学校等の公共施設、郵便局、銀行、駅、商店街などがあり、利便性に富んでいる。小学校からは、児童の元気な声が聞こえてくる。
- ・主治医は手品を得意とし、行事等事ある度に披露し、入居者やスタッフ等、楽しんでいる。
- ・主治医は同敷地内に24時間滞在し、急変時直ぐに対応ができ、医療連携もできている。

- ・事業所での勉強会や法人内の研修会等を重ねて、理念「利用者を中心にして、家族との二人三脚で、スタッフの統一したサービス」を提供するように努めている。
- ・母体医療機関が隣接し、24時間体制での医療連携体制ができている。また、看護師を配置して、利用者や家族にとって安心できる環境を整えている。
- ・ホームは、地域行事や清掃活動への参加や中学生との交流も行っている。運営推進会議には自治会長や地域住民・駐在署職員も出席している。近所から野菜などの差し入れがあるなど、地域とのつながりを大事にしている。
- ・看取りについての指針や看取り介護の希望確認書などが制定されている。看取りについて、母体医療機関と合同で勉強会を行い、職員間で方針を共有し、看取りの実践にも取り組んでいる。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	パンフレット、はまゆう便りに載せ、家族会、推進会議、職員会議等で理念を唱和する。又10時のお茶の時間に理念の唱和をして皆で理念を深めている。	理念は事業所内に掲示し、はまゆう便りやパンフレットにも載せている。毎朝の申し送り時に唱和し、職員会議で理念について確認しており、職員は、よりよいサービスが提供できるように努めている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	近隣の方に呼びかけ、推進会議 敬老会等に参加頂いている。地域の清掃や、六月灯、花見、文化祭にも参加させて頂いている。	町内会に加入し運営推進会議に地域住民も出席している。地域の六月灯や文化祭の見学、清掃活動に参加している。知人の面会があったり、近所から野菜などの差し入れや中学生の体験学習の受け入れ等、地域とのつながりを大事にしている。	
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の、人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている。	地域の方々に、声掛けしている。悩みや相談事に対し、耳に傾けたりしている。 中学校生徒さんの体験学習受け入れ等も行っている。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	定期的を開催し入居者の現状を知って頂き災害時は避難援助をお願いしている。地域の情報交換の場となっている。(消防署・警察・自治会の方等)	利用者や家族・自治会長・民生委員・近隣住民・駐在署職員・地域包括支援センター職員等が出席し、消防にも出席を依頼している。活動内容等を説明し、外部評価の結果についても報告している。意見交換を行い、そこでの意見等をサービスの向上に活かしている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	<p>○市町村との連携</p> <p>市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。</p>	<p>非課税（インフルエンザ・オムツ申請・）手続き等選挙前の前日投票地域包括支援センターとの協力関係を築いている。</p>	<p>運営推進会議に地域包括支援センター職員が出席しているほか、支所も近くにあり、必要に応じて担当課への相談や情報交換を行い、日頃から協力関係を築くように取り組んでいる。</p>	
6	5	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。</p>	<p>外出の訴えの強い利用者様に対し、玄関前にセンサーの設置を行い、又職員会議やカンファレンス時に、身体拘束廃止について話し合い、安全対策会議に於いても話合っている。</p>	<p>身体拘束をしないケアについて契約時に説明しており、同意書も準備している。職員会議や法人の安全対策会議にて話し合いを行い、職員の共通認識を図り、身体拘束をしないケアに取り組んでいる。また、日中は玄関の施錠はしていない。</p>	
7		<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	<p>研修会、勉強会の機会を設け参加している。まず理念に基き介護させて頂いている。</p>		
8		<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。</p>	<p>成年後見制度について、学ぶ機会を持ち、それを活用できるように支援している。人権問題研修会等進んで、参加している。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	入居前にホーム内を案内し、説明・同意書を頂いている。定期的に主治医・家族・管理者・担当者交え、意向や問題点等を話合っている。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	常日頃、入居者・家族の要望・相談を受け止めている。すぐ解決できることは、その日の職員で、他は月1回の職員会議で入居者・家族要望等を話し合い検討している。	利用者からは、日頃の生活の中で意見や要望を聞いている。家族からは、家族会や面会時を活用し、要望等を聞き、記録して職員全体で話し合い解決できるように努めている。また、必要に応じて運営推進会議にも報告し、運営に反映させている。意見箱も設置している。	
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	職員会議・カンファレンス・時には食事会などを設け、意見を聞き会議記録に記載し、理事長からの意見も頂いている。	管理者は、日常的に職員から気軽に何でも言える雰囲気で見聞や相談を聞いている。毎月の職員会議等にて、運営に関する意見や要望等を、代表者に報告し、運営に反映している。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。	その方の得意とする所を見出し。一人一人が生き生きと働く事が出来る様、見配り気配りに心掛けている。必要に応じ理事長に相談し、思いを伝えるようにしている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>研修に参加、またホーム内でのマンツーマンの指導等行っている。また、資格向上にも努めていただいている。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>他ホームとの交流、事業者同志の意見交換など、また、慰問に行き交流している。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている</p>	<p>入居前に、本人家族と面談し、日常生活状況を把握したり、要望等を伺い、対応できるように心がけている。時間を作り、訪問・傾聴している。</p>		
16		<p>○初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている</p>	<p>本人の状態や、思いを理解できない家族も居るので、よく話を伺っていき、的確な対応ができるように、心がけている。</p>		
17		<p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	<p>主治医、本人、家族、利用しているサービスの担当者等も含め、検討している。</p>		
18		<p>○本人と共に過ごし支え合う関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている</p>	<p>介護者、介護側という関係でなく、入居者様が必要とする場面を見極め、入居者様から学ぶ機会を持っている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	面会時に、健康状態や日常生活、特記事項など、チェック表を見ながら説明報告している。遠方で面会が難しい方には、定期的に電話や手紙等で報告している。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	手紙やハガキで連絡取り合ったり、また電話で話したり、今まで行きつけの美容院を利用、墓参り等で知人に合う機会もある。散歩などの機会に、近隣の方に挨拶会話する。	友人や知人の訪問があり、継続的な交流ができるように支援している。散歩の途中で自宅に寄ったり、墓参り等の外出については家族の協力を得ながら、できるだけ希望に添えるように支援している。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	入居者のその日の体調等を把握し、時々職員が介入しながら支援している。コミュニケーションが取れない方は、歌やゲームなどを行い、職員の支援が不可欠である。		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	病院への面会や家族等の相談にも対応している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	日々のかかわりの中から、入居者さまの言動、表情を汲み取り、把握するよう努めている。家族の思いを聞き、参考にして対応している。	利用者からは、日々のふれあいの中で思いや意向の把握に努めている。家族からは、入居時や面会時等に情報を得ており、本人の意思を尊重した生活ができるように支援している。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活暦や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	本人、家族、親戚や近隣の方から情報を聞き、情報を集め、把握に努力している。当グループホームでも同じように生活していただけるように努めている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	バイタルチェック、食事量、排泄等の確認を行い、入居者様の状態把握に努め、一日を本人らしくすごせるように勤めている。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	家族に日ごろの状態を説明し、家族、本人の意見を聞き、カンファレンスで、職員全体の意見交換を実践している。主治医からの意見も頂いている。	利用者や家族の意見を聞き、毎月のカンファレンスにて全員で話し合い、現状に即したプランになるように作成している。介護計画の見直しは6ヶ月毎に行い、状態が変化した場合随時見直している。モニタリングは6ヶ月毎に実施している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	チェック表を作成し、日々の様子が観察でき、職員間で情報を共有し、介護計画の見直しに活かしている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	本人や家族の情報にあわせ、要望など日ごろから聞き、家族対応が困難であれば、職員での対応をできるだけ行っている。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	地域で行われる行事参加や、地域の文化祭、運動会、六月灯に参加。ひとりひとりの暮らし方を安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	定期受診・必要時は、家族に相談しながら専門医受診を行っている。家族同行、職員同行を行い、情報交換・連携を取るようになっている。	利用者や家族の希望するかかりつけ医への受診を支援している。看護師を配置し、家族の協力を得ながら通院支援を行っている。母体医療機関が協力医療機関となっており、24時間体制で医療連携ができており、利用者や家族にとって安心できる環境となっている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	<p>ホームに正看1人、準看1人が勤務しており、入居者の状態をよく観察している。隣に医院もあり、他部署との連携もとれている。</p>		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<p>入院先に面会に行き、本人・家族・看護師さん等からの相談や、情報を頂いている。</p>		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>入居時に説明し、同意書をいただく。専門的治療が必要なときは、本人、家族、主治医、ケアマネ、看護師、介護士、担当者等で話し合いを行っている。</p>	<p>入居時に、重度化した場合の指針を説明し、同意書をもっている。必要に応じて、看取り介護の希望について確認するようにしている。家族と話し合い主治医と連携して支援しており、母体医療機関と合同で勉強会を行っている。また、看取りについて、職員も方針を共有し、看取りの実践もしている。</p>	
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>毎月の安全対策委員会で応急手当、AEDの使用方法等の勉強会を行っている。また、事故発生、体調異変時の連絡方法を表示している。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>デイケア、病院等と連携を取り合同の練習を行ったり、夜間想定防火訓練を行ったりしている。また周辺の地域の方々へも、声掛けを行っている。</p>	<p>避難訓練は年2回実施し、近隣住民や家族の協力も得ており、母体医療機関等との共同訓練も実施している。毎月、AED訓練や消火器の使用訓練・消防設備の定期点検を実施している。災害時の食料・水も備蓄している。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	トイレ使用時は、ひざ掛け等を。職員間では、排便の場合はBと表現する等、言葉遣い、表現に気をつけながら介護にあたる。入居者様への語りかけなど日々職員間で話し合い、プライバシー保護に努めている。	職員会議等で、言葉使いや記録の表現についての配慮等、プライバシー保護や個人を尊重したケアが実践できるように話し合い支援している。法人内の研修や地区の事業所の勉強会にも参加し、尊厳あるケアに努めている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	本人の行動や表情等を把握し、本人のペースに合わせる。状況観察を行い、職員が援助しながらできるだけ本人に決めていただくようにしている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	一人一人の体調に配慮しながら、食事や行事等調整している。入居者様のペースにあわせ介助を行っている。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している	本人に選んでいただき職員と一緒に考える。美容院もいきつけがあり、おねがいしている。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	調理、盛り付け、後片付け等、できることを職員と一緒に、その方に応じてお願いしている。お盆、ランチョンマット等使い分け、気分転換を図っている。	利用者の好みに配慮し、献立を作成している。食事を楽しむために、座席等、職員会議で話し合い工夫している。盛り付けなど利用者もできる範囲で一緒に行い、職員と利用者が同じテーブルを囲んで楽しく食事をしている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	一人ひとり、主食・副菜に分けて記録、必要な方には水分量も時間、量、種類を細かく記録している。必要に応じてドクター報告を行っている。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後、うがい、歯磨きを行っていただき、その後職員が援助している。入居者様によっては、定期的に、歯科医に嚥下の状態をみていただく。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	個々に応じた排泄パターンを把握して、定期的にトイレ誘導を行い、習慣を活かした自立に向けた支援を行っている。	排泄チェック表を作成し、利用者一人ひとりの排泄パターンを把握している。適時に声かけを行い、トイレ誘導をしてできるだけおむつをしないで済むように、排泄の自立に向けた支援を行っている。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	チェック表で排便確認、食事量、水分量、運動等、個々に応じた予防に取り組んでいる。必要に応じて運動の時間を作ったり、主治医相談、指示を頂く。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	一人一人の気持ちを聞きながら希望やタイミングにあわせての入浴を行っている。	入浴は週に3回のペースであるが、利用者の希望に合わせていつでも入浴ができる。入浴を拒む利用者には、強制せずにバラの花湯等、工夫して対応している。それぞれのペースで入浴を楽しめるように個別に入浴支援をしている。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々の状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	一人一人の気持ちを聞きながら時間の状態に応じて対応。安心して眠て頂けるよう、声掛け支援を行っている。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	使用している薬の目的や副作用、用法や用量についてカンファレンスで話し合い、理解している。薬の準備、服用前、入居者様本人、服用後など、数人での確認を行っている。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	本人のできることに喜びを把握し、職員と一緒にやっている。ほめたり、感謝の言葉を伝える。個々にあった気分転換の支援等を行っている。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。	入居者様の重症化もあり、以前より外出する機会も減っているが、入居者様の希望把握に努め、御家族様の協力も得て、外出等を実施している。	小学校の下校時間帯に散歩を取り入れ、子供達とのふれあいや近隣住民との挨拶や語らいを楽しみにしている。地域の行事に参加したり、花見に出かけている。墓参りや法事・外出は家族支援で実施している。歩行困難者はリフト車を利用して外出支援をしている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>お金と財布をもつことで安心される入居者様には、持っていたいでいる。支払い等あるときは、家族と連携をとりながら、職員も見守りなど支援をしている。</p>		
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している</p>	<p>携帯電話を使用している方もいる。手紙は代筆し、名前は入居者様に書いていただいている。</p>		
52	19	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>玄関には緑の植物を置いたり、また季節のものを置いたりする。空気の入替え、除湿機、空気清浄機等を置き、掃除等まめにおこなう。入居者様が居心地よく過ごせるように、職員間で話し合い工夫している。</p>	<p>リビングには、天窓があり明るく、空気清浄器等が設置されている。畳のスペースやソファがあり、季節感を大事にした飾り付けがされ、利用者の作品や写真等が展示してあり、利用者が居心地よく落ち着いて生活できる環境である。</p>	
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>リビングにソファがあり、テレビを見たり、会話したり、お茶を飲んだり、時々畳の間で、洗濯物をたたんだり、本、新聞を読んだり、居室で過ごしたり、一人一人が思い思いに過ごせるよう居場所の工夫している。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもをを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>入居時入居後も、本人が安心して我が家に居るよう、使用して頂いていた物等持ち込んで頂いている。仏壇等家族と相談し持ち込んで頂いている。</p>	<p>居室は洋室と和室があり、利用者の意向に沿って使用している。居室には冷蔵庫や家具・写真・仏壇等があり、利用者が安心して暮らせる配慮がなされている。</p>	
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<p>一人一人の体調・機能を把握し、名前の表示をしたり、時には配置換え等を行いながら入居者様の解る事を活かす限り自立した、生活が送れる様工夫している。</p>		

V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1 ほぼ全ての利用者の
			2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)		1 毎日ある
		○	2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
		○	3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ全ての家族と
		○	2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1 ほぼ毎日のように
			2 数日に1回程度ある
			3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	○	1 大いに増えている
			2 少しずつ増えている
			3 あまり増えていない
			4 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1 ほぼ全ての職員が
			2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
		○	3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての家族等が
			2 家族等の2/3くらいが
		○	3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない